

信州大学医学部附属病院腎臓内科、長野赤十字病院に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年6月28日

「Anti-neutrophil-cytoplasmic-antibody-associated-vasculitis (ANCA 関連血管炎) 患者における腎生検の有用性の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5211
研究課題名	Anti-neutrophil-cytoplasmic-antibody-associated-vasculitis (ANCA 関連血管炎) 患者における腎生検の有用性の検討
所属(診療科等)	腎臓内科
研究責任者(職名)	原田 真 (医員)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2022年12月31日
研究の意義、目的	ANCA 関連血管炎により腎障害をきたした患者さんにおける腎生検施行の意義を明らかにするための研究です。今後腎障害を合併したANCA 関連血管炎患者さんの診療に貢献すると考えられます。
対象となる方	2013年1月1日から2019年12月31日の期間に当院腎臓内科で、また2010年1月1日から2017年12月31日の期間に長野赤十字病院でANCA 関連血管炎の医療を受けられた方で腎障害を有していた方。
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、臨床経過
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	電子的記録媒体により提供を受けます
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、腎障害を合併していたANCA 関連血管炎患者さんについて、腎生検を実施した患者さんと実施していない患者さんで腎予後、生命予後、感染症発症に差があるか統計学的に検討します。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	信州大学医学部附属病院 腎臓内科 原田 真 長野赤十字病院 腎臓内科 小林 衛
研究代表者	主任施設の名称: 信州大学医学部附属病院 研究責任者: 原田 真
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 原田 真 (腎臓内科・医員) 電話: 0263-37-2634

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。